相馬福島道路要望活動 早期完成求める

相馬福島道路に関する総決起大会が行われた翌日から、髙橋町長と片平町議会議長らが、相馬福島道路の早期完成と（仮称）国道4号インターチェンジに『桑折』の名称を求める要望活動を行っています。

1月30日には、発起人会の佐藤久仁夫会長とともに、福島河川国道事務所小浪尊宏事務所長と東北地方整備局髙田昌行局長のもとを訪れました。

また、2月4日には、官公庁へ赴き、国土交通省の国土交通大臣政務官阿達雅志参議院議員と池田豊人道路局長、菊地身智雄技監、財務省主計局を訪問しました。

町では、引き続き、復興のシンボルとなる相馬福島道路開通に向けて、財源確保と『桑折』を名称に使うよう働きかけていきます。

相馬福島道路の要望活動のため、髙橋町長から阿達議員（写真１中央）、池田局長（写真１右から２番目）、菊地国土交通省技監（写真２右から２番目）、小浪事務所長（写真３右から２番目）らに要望しました

どんなことを要望してきたの？

平成32年度に開通予定の相馬福島道路。この道路工事に伴う次年度以降の十分な予算確保を財務省に要望しました。

また、この道路と町内をつなぐ国道4号ICに『桑折』の名称を使用するよう、国土交通省に要望しました。

あんぽ柿トップセールス 安倍首相へお届け

あんぽ柿のトップセールスのため1月31日、髙橋町長は、内堀雅雄県知事、JAふくしま未来菅野孝志代表理事組合長、生産部会長、伊達市長、国見町長、福島キャンペーンクルーミスピーチらとともに、首相官邸を訪れました。

安倍首相は、一口召し上がると「甘くておいしい」と笑顔を向けました。

今年は、生育期間中の天候に恵まれたため、例年より糖度が高い「あんぽ柿」ができました。

引き続き、町では、全国各地の消費者へ、あんぽ柿の美味しさを広くPRしていきます。

首相官邸にてあんぽ柿のおいしさを PR してきました

トロリと甘い、きれいなアメ色の「あんぽ柿」。ビタミンやカルシウムなどが凝縮され、栄養とおいしさがギュっと詰まっています！

浦島先生の講演会 健診結果から「生活習慣」を考える

▲自分の健診結果を見返しながら講演に耳を傾ける参加者

町健康講演会「健康についてみんなで考えよう！」が2月22日、「イコーゼ！」で行われました。震災後、町放射線健康リスク管理アドバイザーを務めた、東京慈恵会医科大学の浦島充佳先生を講師に招き、町民約150人が参加しました。

はじめに、保健福祉課より、町の特定健診から見える町の現状について説明。同規模自治体や国と比較して、桑折町はメタボリックシンドローム（以下メタボ）該当者・予備軍や、高血圧の人が多いことなどについてお話ししました。

続いて、浦島先生より、医学的な立場から、この健康状態が続いた場合、どのような病気になる可能性があるのか、あるいは、病気を未然に防ぐためには、普段の生活の中で何に気をつければいいのかについて、ポイントを教えていただきました。また、先生自身、昔はメタボ体型だったことを告白。食生活を見直したり、少しずつ運動を始めたりした結果、健康状態が回復してきた経緯をお話しくださいました。

Interview

生活習慣の見直しが 健康増進・回復につながる

薬を使わなくても、食事や運動などの生活習慣を見直すだけで、薬を飲むのと同じくらいの作用が働き、病気を防いだり、症状が回復したりすることができます。副作用もなく、医療費もかからず、一石二鳥ですよね。今や「人生100年」と言われます。残りの人生も健康で過ごすために出来ることから始めましょう。

浦島 充佳 先生

在宅医療講演会・介護予防大会 自分らしく暮らせる町をめざして

在宅医療・介護講演会が1月30日に、やすらぎ園で行われました。桑名医院の桑名俊光先生より、在宅看取りについて講演いただきました。最近は、最期を自宅で迎える人が増えており、元気なうちから最期はどうしたいか、家族や専門職も交えて話し合う、計画しておくことが必要であるとお話しいただきました。

また、2月13日には、介護予防大会が行われました。はじめに、いきいき百歳体操の活動開始当初から4年目を迎える3団体に感謝状、参加者最高年齢である佐藤キヨさん（95歳）に表彰状を贈呈しました。その後、参加者全員で体操を実施。最後に、百歳体操ポイントの抽選会を行い、体操仲間の輪を広げました。

1_ 百歳体操発足当時 20 人だった参加者も今や 370 人に
2_ 体操参加者最高年齢の佐藤さんに表彰状を贈りました
3_ 在宅医療・介護についてをお話する桑名先生

交通事故死者ゼロ2千日達成 県交通対策協議会長表彰

▶記録達成を祝って、関係者一同で記念撮影

交通事故死者ゼロ2千日達成福島県交通対策協議会長表彰伝達式が1月29日、役場で行われました。県北交通対策協議会長の小川武県北地方振興局長から町交通安全対策協議会長の髙橋町長に表彰状が手渡されました。

小川局長と金澤幸生福島北警察署長が祝辞を述べた後、髙橋町長が「今後も記録を伸ばせるよう、町も交通安全運動にまい進したい」と謝辞を述べました。

この記録が三千日、四千日と続くよう、町、関係機関が協力して交通事故撲滅に取り組み、安心して暮らせる町を目指していきます。

交通事故防止コンクール 桑折町が特別表彰受賞

平成30年市町村別交通事故防止コンクールの表彰式が2月18日、福島県庁で行われ、桑折町が表彰を受けました。

このコンクールは平成30年の事故発生状況と過去3年間の状況を比較し実績を評価したもので、高齢者の事故率が大きく減少したことから「特別表彰」を受賞しました。

髙橋町長は「高齢者の事故が増加する中、受賞できたのは、町民の皆さんをはじめ、警察署や交通安全関係団体の各季の啓発運動や日頃の交通安全の呼びかけ等、ご協力の賜物」と話しました。

◀亀岡桑折地区交通安全協会長(左)、野崎シルバー交通安全推進隊長(右)

仙台駅と羽田空港で 桑折町の魅力を全国にPR

町の知名度アップと観光誘客の増加および風評払拭を図るため、観光・農産物のPRイベントが、1月18日と19日にJR仙台駅で、1月26日と27日に羽田空港で行われました。

JR仙台駅では、中央改札口広場に設置してある大型モニターに桑折町の紹介映像を放映し多くの駅利用者に情報を発信。また、スマイルピーチやホタピーとの記念撮影、アンケート調査を行い、参加者に至福の桃グミをプレゼントするなど、さまざまな面から桑折町をPRしました。

羽田空港では、国内線第1ターミナルで行われた県主催の「ふくしまフェスタin羽田空港」に参加し、町の観光、ふるさと産品等の魅力を発信しました。また、特設ステージでは、スマイルピーチとホタピーによる町の紹介コーナーも行い、全国から集まる空港利用者に向けて、情報を発信しました。

1_駅構内の大型モニターの前で多くの利用者にPR　2_新しい観光ガイドブックも好評　3_スマイルピーチとホタピーに子どもたちも大喜び

男女共同参画プラン推進懇談会 さらなるプランの推進を図る

町では「こおり男女共同参画プラン」を策定し、さまざまな施策を行っていますが、より効果的な事業の推進や改善を図るため、意見等をいただく「桑折町男女共同参画プラン推進懇談会」を設置しています。

平成31年2月1日からは新たな委員を選任し、2年間の任期として町長から委嘱状を交付しました。

▲懇談会では、町の推進状況を確認したり、プランについての意見を交わしたりしました

■桑折町男女共同参画プラン推進懇談会委員　(敬称略)

職　名	氏　名	団体・役職名等
会　長	半澤利津子	町女性団体連絡協議会会長
副会長	鈴木堅之	町商工会青年部長
委　員	佐藤久仁夫	町行政連絡員連合会会長
委　員	佐藤淳子	町PTA連絡協議会 (醸芳中学校PTA副会長)
委　員	浜田広美	町社会福祉協議会
委　員	蓬田由美子	JAふくしま未来女性部 伊達地区桑折総合支部長
委　員	大槻睦子	NPO法人ささえ愛ふらっと
委　員	奥山　篤	町工場協会事務局
委　員	梅宮克美	福島信用金庫桑折支店長
委　員	松浦佳子	一般
委　員	片平文子	一般
アドバイザー	藤野美都子	県立医科大学医学部 人間科学講座教授

災害発生時における 男女共同参画のあり方を学ぶ

男女共同参画推進のための講演会が2月9日、中央公民館女性講座との共催で行われました。

今年度は防災分野での男女共同参画について、NPO法人イコールネット仙台の宗片恵美子さんを講師に迎え、「災害に強い地域づくりのために」と題して講演いただきました。

有事の際は男性に頼りきりになるのではなく、女性もリーダーとして活躍できるよう、日頃から男女共同参画の視点で地域での活動やつながりを持つことが重要であることなどを学びました。

▶質疑応答で意見を交わす宗片さんと参加者

消費生活の出前講座を開催 家庭で起こりやすい事故を学ぶ

消費生活に関する出前講座が1月31日、町と町社会福祉協議会との共催で行われました。

福島県生活環境部消費生活課の紺野充主任主査を講師に招き、「安全に暮らしていくために」と題し、家庭で起こりやすい事故状況を紹介。階段や室温などの「住環境」が原因の事例や、電化製品等の「製品」が原因の事例について、ついやってしまいがちな危険性をお話しいただきました。

参加者からは「電化製品の使い方を見直そうと思った」「製品の安全性を示すマークが分かって参考になった」などの感想がありました。

◀実際の事故状況を動画で見ながら、安全な暮らしについて学びました

桑折町立志式・記念講演 15歳の節目に自分を見つめる

町立志式・記念講演（町青少年育成町民会議主催）が2月8日、「イコーゼ！」で開かれ、醸芳中2年生が出席しました。

立志式は、数え年で15歳の節目に自分を見つめ、社会の一員としての自覚や責任を持つきっかけになるよう実施しています。

式典では、運営委員長の会田教育長が生徒代表の吾妻緋色さんに証書を授与しました。続いて、生徒代表の矢吹ななこさんが「立志という意味を受け止め、今以上に、自分の行動に責任をもち、思いやりの心を大切にします」と誓いました。

記念講演では、日本調理技術専門学校の鹿野正道副校長より「食べる事は楽しい事である」とメッセージを贈っていただきました。

1_2 年生を代表して誓いの言葉を述べる矢吹さん　2_ 鹿野さんより「地域の魅力」と題して講演をいただきました
3_ 生徒全員で「生命が羽ばたくとき」を合唱しました

町の子育てセミナーがスタート ネウボラについて理解深める

桑折町子育てセミナーが2月26日、やすらぎ園で行われました。主にフィンランドの幼児教育を研究している、仙台大学の柴田千賀子先生を講師に招き、フィンランドの子育て支援制度「ネウボラ」の考え方や、実際の保育現場についてお話しいただきました。

また、講演会に並行して、安心して子どもを預けられる遊び場やカフェコーナーも設け、子連れで参加する保護者の方も多く見られました。

町では、来年度も継続して子育てセミナーを開催し、安心して子育てができ、住み心地がよい町をめざしていきます。

◀フィンランドの子育てから子どもとの対話の大切さをお話しました

幼稚園・小中学生に制服贈呈 ピカピカの制服に笑顔

町は、平成31年度新入園児および新入学児童生徒へ入園・入学のお祝いとして、町内の幼稚園と小中学校の各制服を贈呈しました。

これは、子どもたちに新たな気持ちで幼稚園や学校の生活を送ってほしいとの思いから、今年で3度目の実施となります。また、子育て世代の入学時における経済的負担の軽減を図ることも目的としています。

2月22日、醸芳幼稚園で贈呈式が行われ、園児らは「小学校でも頑張ります」と凛々しい表情で制服を受け取りました。

▶町より4月から新1年生になる子どもたちに制服が贈られました

献上桃の郷BBQフェス2019

チケット販売開始 桃源郷でBBQフェス

問実行委員会（産業振興課内）　☎582-2126

桃の花や半田山を眺めながら青空の下でバーベキューを楽しみましょう！うまいもの屋台や風船の国のアリスによるステージもあります。

日にち▶4月14日㈰
場所▶桃の郷ポケットパーク（伊達崎字大畑向）
定員▶1,000人
チケットについて▶1人 税込2,000円
（チケット1枚につき肉300g＋野菜と引換え）
※飲物、焼きそば等売店にて別途販売します。
【販売期間】 3月1日㈮～4月5日㈮
【購入場所】 役場、町振興公社、町商工会、JAふくしま未来桑折営農センター、伊達果実農業協同組合、ふくしまFMホームページ
臨時駐車場▶「イコーゼ！」
シャトルバス発着所▶桑折駅、「イコーゼ！」（終点は衛生処理組合）
主催▶献上桃の郷BBQフェス2019実行委員会

桑折駅前駐車場整備事業

桑折駅前駐車場 4月末から有料化へ

問まちづくり推進課　都市整備係　☎582-2124

4月26日から、駅前駐車場は「コインパーキング」、駅北臨時駐車場は「月極駐車場」に変わります。（民間事業者が管理運営）

利用料金▼
【駅前駐車場】 1時間100円、24時間最大料金500円（繰り返し適用）、無料時間2時間
【駅北月極駐車場】 町民利用者1ヶ月3,000円(税別)
※3月中旬～4月下旬まで、機器設置等の工事を行います。（期間中も利用可。一部制限あり）
※詳細については、後日改めてお知らせします。

除染廃棄物処理事業

仮置場の除去土壌等 搬出が進んでいます

問生活環境課 原発事故対策係　☎582-2123

現在環境省により、町内仮置場で保管している除去土壌等を中間貯蔵施設に搬出する作業が行われています。今年度は、約20,000袋の輸送が計画され、これまで約8割の搬出が完了しました。また、ふれあい公園や町民グラウンドに埋設した土壌等の搬出も進めています。

これまで仮置場12箇所から搬出が完了し、小学校や幼稚園などの教育施設に埋設していた除去土壌等も、すべて搬出が完了しました。

来年度の搬出量は、約43,000袋が予定されています。今後も引き続き国に除去土壌等の早期搬出を求めていきます。

蚕糸記念公園整備事業

旧蚕糸庭園整備中 4月3日に竣工式

問まちづくり推進課　都市整備係　☎582-2124

旧蚕糸庭園を憩い・交流の場、賑わい創出の場として利用いただけるよう、昨年8月から整備を進めています。名称は、町の発展に寄与した蚕糸業の名残りを留める「桑折町蚕糸記念公園」となります。完成は3月22日の予定です。

整備概要▶池型の保存、四阿（あずまや）、園路、水飲み場、手押しポンプ、親水池、駐車場、クローバー広場